

研修会報告

平成 30 年 12 月 12 日

分責：血液部門長 大久保 礼由

血液・遺伝子部門合同研修会

研修会テーマ「造血器腫瘍における遺伝子検査」

開催日時 平成30年12月8日(土) 14:00～16:50

会場 東北大学医学部1号館第1講義室

【講演・講師】

1. 「遺伝子検査の基礎 ～リアルタイムPCR法について～」

石巻赤十字病院 病理部 峯村 洋行 技師

2. 「造血器腫瘍における遺伝子・染色体検査」

東北大学病院 診療技術部検査部門 佐々木 麻美 技師

3. 「造血器腫瘍の診断から治療まで」

国立病院機構仙台医療センター 血液内科医長 横山 寿行 先生

日臨技生涯教育研修制度 専門20点

参加者 会員35名、賛助会員1名、非会員1名（講師） 計37名

【内容】

今回の血液・遺伝子部門合同研修会では、『造血器腫瘍における遺伝子検査』をテーマに開催した。血液分野と遺伝子分野は、造血器腫瘍を見るうえで双方とも理解する必要がある。今回の研修会は造血器腫瘍における遺伝子検査として、遺伝子検査の基礎から造血器腫瘍に関する遺伝子の知識を習得し、個人のスキルアップとともに両部門の連携につなげることを目的とした。

講演1では、遺伝子検査の基礎について、遺伝子の基礎から始まり、遺伝子の検査法特にリアルタイムPCR法について、簡単にご講演頂いた。血液検査を行っている技師は遺伝子の基礎を理解していないことから非常に有益であった。

講演2では、東北大学病院における造血器腫瘍の遺伝子・染色体検査についてご講演頂いた。宮城県内で造血器腫瘍遺伝子・染色体検査を実施している施設は東北大学病院しかなく、本講演では実臨床でどのように造血器腫瘍遺伝子・染色体検査を実施しているのか症例を交えて講演していただき、イメージしやすくなった。

講演3では、血液内科医がどのように造血器腫瘍を診断し治療するのか検査技師では普段耳にすることのできない内容をご講演いただき、血液検査分野においても遺伝子検査の重要性を理解することができた。

本研修会から血液・遺伝子検査分野の連携は非常に重要であると思われ、今後も宮城県内の血液・遺伝子検査分野の発展のため合同研修会を開催していきたい。